

# 市民ギャラリーだより

No. 2  
R6年2月

防府市文化協会 発行



## 「市民ギャラリー」の利用は

とても順調に進んでいます

防府市文化協会

会長 岡本早智子



アスピラート一階に「市民ギャラリー」が出来て、文化協会の会員達が、芸術・文化活動の発表や交流を進める様になって、早、二年目が終りに近づいています。この間に、令和四年度は三十三団体（または個人）が利用し、令和五年度は、四十九団体（または個人）が利用しているという、増加振りでです。

そして、利用の様子を見ますと、日毎に発表方法や内容に工夫が加えられ、音楽と美術のコラボや参加者の体験活動が入ったり、シリーズ作品を複数回に分けた書道展等、市民ギャラリーの広さや特長を生かした活用が増えており、自ずと、入場者も倍増しています。

文化協会といたしましては、この様な「市民ギャラリー」の運営は、当会の拠って立つ目標と照らし合わせても、とても有意義な役所（やくどころ）であり、防府市や市民の皆様の御協力を得ながら、令和六年度以降も、この調子で進めたいと考えておりますので、何卒よろしくお願いたします。

## 防府市文化協会二十五周年記念

「鳩山ときどき山頭火」展を終えて

富永 鳩山

昨年、防府市文化協会は創立二十五周年の記念行事の一環として、十二日間に及ぶ個展開催の依頼がございました。毎日筆を持ち書き続け、何とか「鳩山ときどき山頭火」展初日に作品を揃えることができました。

期間中は梅雨の時期で、毎日雨に降られましたが、それでも足を運んでくださる方がおられ、遠くは福岡や長野からもご来場いただきました。市民ギャラリーはアスピラートの一階にあり、どなたでも気軽に入れるところが素晴らしい、会場では書道の話しはもちろん、コロナも五類になり、人々の往来も活発になり始めた頃でしたので、久しぶりにお会いした方とは、懐かしい思い出話や近況報告など様々な話題で盛り上がりました。芸術文化は人々の精神的な喜びを醸し出してくれます。市民ギャラリーは、芸術文化を発信するばかりでなく、コミュニケーションの場であり、人々の繋がりを広げてく場でもあるのだとつくづく感じました。

この道七十年、ひたすらに自分の思いを書き込めてまいりました。「何を書くか」は「どう生きるか」ということにつながっているようです。書道とはそうした道なのです。

この度、書道はユネスコ無形文化財に推薦されました。



## 「市民ギャラリー」開館二年目を

振り返って

防府市美術連盟 顧問 岡田 博幸

市民待望の「市民ギャラリー」がオープンして二年近くになりました。市民ギャラリーでの展示発表や活動は少しずつ広がり、市民にとって重要な存在になってきました。この二年間を振り返って今後の「市民ギャラリー」の在り方を探るのも大事と思います。市民ギャラリーとして、独自の企画、イベントや、設備、備品等も改善すべき点が見えてくると思います。

「市民ギャラリー」の発展を考えると作家の作品の展示発表ばかりでなく、ギャラリー独自の「企画展」も一つの手法です。人を動かすのであれば、それなりのしっかりとした組織、リーダー、芸術的な広い見識を持った人材が必要です。むしろ、今育てて行くことです。

これらがそろわない限り、また本気で人を動かさない限り、机上の空論で終わることになります。そのためにはしっかりとした組織を作るための準備委員会（仮）で企画、運営を討議することが大切です。他市との交流や作家を呼び込むことが出来るようにすることです。

防府はスポーツの町、音楽やブラスの町という声はよく聞きますが、防府市は美術文化の町というはまだ聞いたことがありません。

頑張らしましょう！



## 市民ギャラリーでの個展

日本版画会会員

山口県創作版画会会員 河村 泉

私は市民ギャラリーができるまで聞いてずっとどうしようかと悩んでいました。私みたいなものが個展を開いているのだろうか。でもやったらいいじゃないなんて声を大勢にいただきました。そして文化協会の方も色々相談にのって頂き、後押しして頂きました。やるとなったら、作品の数やら大きさなど準備に時間がかかると思います、ギャラリー開設の翌年つまり今年の春、暖かくなってからにしました。

そして五月十一日から四日間市民ギャラリーで念願の河村泉木版画展を開く事が出来ました。大勢の人に観て頂いて疲れましたが、楽しそうに観て回る人の姿にほっとする一方、嬉しさがこみ上げて来ました。本当につくづくやって良かったと今でも思います。

次はいつ・と聞かれますがこれが最初で最後と思えば今回の作品を出展しました。ですからいつかと言えませんが、あれからも日々新作に取組んでいきます。版画の新しい表現を模索してこれからも自分らしい版画を作り続けたいと思っております。そして最後に個展をお手伝い頂いた全ての人にお礼を申し上げます。



## (公益財団法人) 日本郵趣協会登録・

防府支部

梶山支部長 桑木 正道

以前は、「切手収集は趣味の王様」と言われていたことがありました。私たちは、それを趣味としているグループです。切手収集の楽しみ方はいろいろありますが、コレクションを展示して見ていただくのもその一つです。

今年度初めて文化協会会員としてアスピラート市民ギャラリーにおいて切手展を六月七日から十五日まで開催しました。展示した作品テーマは、詐欺郵便、絵画切手、独自に作成したカード、カラーマーク付き切手、メールアートでした。切手に描かれるのは文化、歴史、自然、風物など多面にわたり、独自の「美しさ」や「芸術性」と言った文化的価値は、正に「紙の宝石」です。それゆえに、国別、図案、テーマ、郵便史、消印、切手を使用したアートなど多面的で奥深い面白さがあることを切手展で一般の方々に少しでも理解してもらえれば幸いです。

今後はできれば、より充実して定期的な開催を期しています。

防府支部では、切手展のほか、毎月例会、情報提供、切手交換会、使用済切手買取などの活動をしております。現在、会員数二十一人、年会費二千円。興味のある方の新会員大歓迎です。



## 喜びの水が流れこんだ！

市民ギャラリー完成！

防府市美術連盟 会長 原田 信夫

昭和四十四年四月一日に作られた防府市美術連盟の規約の第三条に、本会は、防府市美術文化の向上に寄与することを目的とします。

この目的を達成するために、これまではアスピラート二階で高校生以上の年一回の防府市美術展が大きな役割を果たしてきました。

これまでこの場所で個展やグループ展等は時々実施されてきましたが、少人数で気軽に展示できる会場がなくて困っていました。

そして令和四年五月にアスピラート一階に念願の「市民ギャラリー」ができました。

個人で展覧会等をするには、最適な広さで、明るく設備が整っており、使用料も無料でその上、駐車場も近くにあり、最高の場所です。

そのため、様々な分野の方々がこれまでに途切れることなく市民ギャラリーを利用されてきました。私も本年度利用させていただきましたが、家族ぐるみで身近な多くの方々が鑑賞に来られました。まるで、市の文化活動に喜びの水が流れこんだように感じました。

今後は、年一回の防府市美術展だけでなく、義務教育の時から市民ギャラリーの利用促進に努めるように働きかけたいと思っております。



## 市民ギャラリーで「いけばな展」

池坊防府副支部長 石川 雅子

令和五年七月中旬に「池坊いけばな展」を市民ギャラリーと市民スペースを使用して開催しました。初めての使用なので設営などに心配はありましたが、新しくきれいな会場なので作品も映えてきれいでした。掛け、置きも出来るのでとても重宝しました。設営は市民スペース入口からの導入として作品を並べていき、ギャラリーの入口へ進むよう動線を考えて配置しました。暑い季節でしたので、水辺を思わせる作品を心掛けました。場所も良く笑顔満開通りにあり、お陰様で七〇〇名あまりの入場者があり、市民ギャラリーに感謝です。これからもぜひ利用していきたいと思えます。

次の活動は、ソルトアリーナにて令和六年三月二日から池坊山口県連合支部いけばな展を開催する予定です。ご来場をお待ちしております。



## 「十色会展」

スケッチサークル十色会 熊崎 範男

市民ギャラリーがオープンした令和四年の十一月にスケッチサークル「十色会展」と、昨年八月に私の「淡彩スケッチ展」を開催させて頂きました。スケッチサークル十色会は十年前に防府市生涯学習課主催による、わくわく学び塾に参加したメンバーが集まり、「水彩スケッチを通して 豊かな人生を楽しむ」をモットーに、現在十六人が活動しており、月二回、市内や近郊での水彩スケッチ会と、冬期は室内で写真スケッチを楽しんでいます。日頃の活動成果は、二年に一回の作品展で皆さんに観ていただき、スケッチ力向上へのモチベーションを頂いています。幸いに市民ギャラリーでの作品展を観られた来場者の中から三人の新会員がサークルに加わりました。サークルは今年で十周年を迎えました。会がこのように長く続いている要因の一つに、皆さんが気軽に参加できていくことが挙げられます。市民ギャラリーでの作品展も、気軽に市民が利用させて頂けることが幸せています。これからもサークルが続く限り市民ギャラリーでの「十色会展」開催を楽しみに描き続けたいと思います。作品展を鑑賞された皆さんが水彩画に関心を持たれ、少しでも防府市の水彩画人口が増えれば幸せませす。



## 市民ギャラリーを利用して

キャンバス夢 吉田 博

今回、アスピラート内の市民ギャラリーで「キャンバス夢」展を開催することができました。開催期間は、十一月十日から十二日の三日間です。

「キャンバス夢」は、牟礼公民館で油絵を中心に活動している会員六名の小さなサークルで第一第三金曜日が活動日です。

いつもの年は二階の展示室で開催していたので多くの来場者から「どうしてこんな素敵な会場でできたの？」と質問されました。

展示スペースが広く搬入も楽でした。また、両サイドに収納庫があり、必要な用具類も揃っていても便利でした。

スタッフの方も献身的にサポートしてくれました。期間中ロビーでは、「日韓交流里帰り展」が並行して開催されていて、お互いに良い効果がありました。

そのおかげもあり、来場者数は昨年と比べ約二倍に増えました。

コロナ禍により、どの団体もダメージを受けているこの時期、市民ギャラリーの活用が生む効果は大きいと思えます。



## オカリナ合同演奏を行って

オカリナ夢笛 田中 恵子

十月六日(金曜日)にオカリナ愛好会、オカリナ夢笛、スピカ、リングハートの、四つのオカリナグループによる合同演奏会を市民ギャラリーで行いました。

今まで永く行われてきた、天神ピアでのサマーコンサートが実施されなくなり、私たちの発表の場が一つ失われてしまい残念に思っていました。市民ギャラリーで、演奏の場をもてると知り、早速申し込みました。ギャラリー利用者が多いのに驚きましたが、快く日程調整をしていただきました。

当日は、他団体との共同開催だった為、ギャラリーの半分のスペースで演奏を行いました。四グループ合同ということもあり、平日にもかかわらず多くの方に来場いただき、会場は満員でした。

各グループの特徴ある演奏が次々と行われ、最後には出演者十二名全員での演奏と、来場の方の大合唱で、盛り上がりました。

今後も、防府の文化の発信拠点として、市民ギャラリーがますます発展していくことを期待するとともに、私達も微力ではありますが、協力していきたいと思っています。



## 源展

グループ源 横田 素子

私たちグループ源は、岸田源太郎先生の教えを受けた者たちで構成された絵画グループです。ほとんどのメンバーが出合ってから四十年ほどの付き合いですが、約三十年前からグループ源として、年一回絵画展「源展」をひらいてきました。初めは、デザインプラザで、アスピラートができてからは、アスピラートの二階の展示室での開催でしたが、今年初めて市民ギャラリーを利用していただきました。

文化協会の会員となれば、ホールの利用料がかからないこと、市広報に予定を載せていただけること、なにより会場が開放的で使いやすいなどメリットだらけの会場利用でした。感謝感謝でした。

私たちのグループは四十年前は源太郎先生に絵の指導を受けていましたが、今はそういうことはなく、コロナ前までは、年に一度か二度、スケッチ旅行と称して県内各地をまわり、時には近隣の美術館巡りなどして、久々の再会を喜び絵を描く気持ちを高めあげたものですが、ここ数年は出かけることもなくなっていましたので、ようやくコロナも落ち着いてきましたので、スケッチ旅行を再開し、来年度の絵画展にはそこの作品を何点か展示できればいいな、と思います。



## 「市民ギャラリー効果」を実感

ほうふ水彩画クラブ 代表 青木 靖男

「ほうふ水彩画クラブ」(以下「当クラブ」)は、通常月例会で水彩画実習研修を開催していますが、その活動成果発表の場として、年一回、作品発表会「遊画な仲間水彩画展」を開催するのが、唯一の対外活動でした。費用面や開催時期設定、会場取得等に制約を受け、思うように活動できないというのが実態でした。

しかし、令和四年の市民ギャラリー開設と利用システム(スケジュール調整、利用料補助、広報等)設定がこれらの制約を一気に解消し、当クラブの対外活動は飛躍的に旺盛になりました。令和五年の市民ギャラリー利用実績を振り返ってみますと、「遊画な仲間水彩画展」(五月)、「サマーコンサートwith水彩画」(七月)、「納涼みず絵の彩展」(七月)、「コラボdコンサート」(十一月)と、市民ギャラリー存在してこそその充実した実績を残すことができました。

今後も水彩画を媒体にして、文化協会所属団体のみにとどまらず外部団体との交流も図り、市文化活動活性化に尽力して参りたいと存じます。



## 「パステルで繋がる御縁」

ソウル一会 立田 真

ソウル一会は近郊にパステルアートの普及活動と御縁を拓けて行く！との思いで防府市文化協会の会員に入り作りました。

市民ギャラリーでの展示会は五月三日～七日と八月十七日～十九日の計二回の開催になりました。

期間中は毎日お越し下さる方や「ありがとう」「癒されました」「こんなに暖かい作品は初めて見ました」などの嬉しいお言葉をたくさん耳にして、市民ギャラリー全体がパステル特有の暖かくて柔らかな空間に包まれて終始笑顔の絶えない展示会となりました。

八月には普段からパステルアートを描かれる作家さんにお声を掛けて三人展というグループ展を開催いたしました。パステルアートと言いつても描く方で作風なども異なり三人が三人とも個性あふれる作品で展示している側でありながらも、それぞれの作家さん達の作品に一喜一憂する楽しいグループ展となりました。

展示会とは別に来場者さまとの触れ合いの一环として一緒に絵を描くお絵描き体験会も開きました。小さなお子さんから大人までの方にパステルアートをお伝えして「楽しかった」「また描いてみたい」などの言葉をいただきました。

展示会を開く前はドキドキ緊張してましたが、お越しくださった方の暖かいお言葉を耳にする毎日が夢のような日々を送ることができ、このような発表の場をいただき感謝感激でした。

これからも定期的に展示会を開催して地域に根付いた活動を行っていきたいと思います。



## SHO遊会展

令和五年十月開催

SHO遊会代表 山田 梓江

「市民ギャラリー」に於いて、教室の中でも全国展である財団法人・書道芸術院展で活躍している人たちが集い、初めての小作品展を開かせていただきました。三か月間で一人三点～五点制作し、搬入当日各自が持ち寄り飾り付けを行いましたところ、個性豊かな作品が並び楽しい展覧会になりました。教室では何時も笑い声が絶えず憩いの場所になっていますが、いざとなれば書ける人たちの集まりなので、今後はSHO遊会を大きく発展させ、市民ギャラリーにぶらりと立ち寄って「書」は面白いと言って下さる方が大勢集まって下さるように精進していきたいと思えます。全国展では大きな作品（2平米位）の規定があるので苦労をしますが、市民ギャラリーは小作品が発表出来るので本当に楽しむ事が出来るので素晴らしい会場です。とても人気があるギャラリーなので予約が難しくなると思えますが、定期的に一年に一回開催出来る事を願っています。

このような機会をいただき文化協会様に心から感謝申し上げます。有難うございます。



## 「クリスマスバルーンリースをつくらう」を開催して

バルーンアート講師 小川 博敏

昨年十二月十六日、十七日に防府市文化協会のご支援を受け、市民ギャラリーで「クリスマスバルーンリースをつくらう」を一昨年に続き開催しました。二日目は、雪がちらつく寒い日でしたが、ショーケースにはクリスマスバルーンをかざり、会場づくりをして行いました。

「クリスマスバルーンリース」のリース部分は、親子で協力して作り、事前作成の「サンタクロース」を取りつけるという作業工程です。「サンタクロース」の作り方も知りたいという方のために、作成工程を見てもらい、仕上げ（シールの目をつけるなど）をしました。それぞれ個性が出てかわいい「サンタ」ができあがり、かわいい「クリスマスバルーンリース」ができあがりました。皆さん笑顔で作品を持ち帰られました。

バルーンは長持ちしないのですが、少しずつ小さくなってもかわいいものです。バルーンアートは、バルーン（風船）を使って、いろいろなものを作り表現します。よく目にするのは、細長いバルーン（ツイストバルーン）を使って作っていくものですが、想像力を発揮すればいろいろなものが作れます。できたらみんな笑顔になります。



## 「パッチワーク」と

### 「かつてきままなネコ」展 (姉妹展)

石田 恵子  
岡田 正子

私たち姉妹は、市民ギャラリーではじめての展覧会をさせて頂きました。とても感謝をしています。姉のパッチワークの作品は、今まで多くを製作したが、タンスの中に大切にに入れていました。私のネコのイラストは、日頃から描きためていたのを出しました。

文化協会をはじめ、皆様のおかげです。今でも展覧会が出来たことが奇跡のように思えます。

防府市長さんをはじめ島田県議ご夫婦、家族や親戚、地域ご近所の方、同級生や知人など多くの方が見に来てくださいました。

案内状等は、主人が作成をし、アドバイスもしてくれました。たくさんのお援助があったからこそ姉妹展が実現出来たのです。

市広報の掲載やケーブルテレビの「まちかどニュース」にも出して戴きました。大変感謝をしています。

人に自分の作品を見てもらうことは、責任が伴うことを痛感しました。人の作品からヒントを得たり、多くの方の意見も参考にしたり、自分なりの作品に仕上げるのが大切であると思えました。

姉妹展で、いろいろな方の意見や気づきを戴きました。今後は、自分の目標をかかげて制作にとりくみたいと思っています。



## アトリエ陽だまり

アトリエ陽だまり 寿浦 淳子

### 「団体の紹介」

本団体は水彩画教室「アトリエ陽だまり・防府教室」、講師は寺田晴美(画家)、教室は華浦公民館で月二回(第一・第三土曜日午後二時から四時までの二時間)行われているサークルです。

### 「感想」

市民ギャラリーは一階にあり、一面白い壁なので、明るく開放的で、入口も二ヶ所あるので通りがかりの方も入りやすく、たまたま寄ってくださった方もいらつしやいました。また、利用料金もとても安価で会員さんにご負担をおかけしないで開催できる点も有り難い事です。この料金なら駆け出しの芸術家の方も自分の作品を発表する機会を得やすく、希望が持てますね。年金生活の高齢者も様々な趣味の作品を披露することができ、生活に張り合いができますね。「市民ギャラリー」は若い方から年配の方まで、発表の機会を与えてくれ、人生をより豊かなものにしてくれる素晴らしい施設だと思います。



## 市民ギャラリーでのミニコンサート

松野 佑子

昨年十月九日、アスピラート市民ギャラリーにてマンドラミニコンサートをさせて頂きました。私は大学のマンドリンクラブでマンドラを弾き始め、卒業後は独奏や作曲に力を入れて活動しています。演奏を通じて、マンドラの魅力を発信していくことが大きな目標です。

今回のミニコンサートの開催は、地元防府で演奏したい、また個人での演奏会を企画してみたいと思ったことがきっかけでした。文化協会やアスピラートを始め、多くの方々のご支援助とご協力のもと無事終えることができ、この場をお借りして深く感謝申し上げます。最初から最後まで一人で演奏するのは緊張感もありましたが、県内外からたくさんのお客様にご来場いただき、次につながる貴重な経験となりました。

市民ギャラリーでは様々なイベントが開催されており、発表や交流の場として気軽に利用することが出来ます。私も、今後またこちらで演奏活動を行っていく予定です。今回よりもさらに充実した内容で楽しんでいただけたらと思います。



## 「市民ギャラリーを活用して」

### カントリードールを作る会

岩崎 廣子

私たちのグループは、昨年6月初めて市民ギャラリーで作品展示及びワークショップを開催しました。

週の始めに、入口横にあるウインドーに飾りつけをし、その週末土日のみの開催でしたが、思ったより多数の来場者でした。

ワークショップは、動物のドールを作りました。参加者は、小学生から年配の方までたくさんの人に取り組んでいただけました。会場は細かい作業もできるくらい十分に明るくて、広い場所も確保できたので、参加された方にゆとりとドール作りを楽しめていただけたと思います。

また、展示に合わせて会場の広さを変えられたので、会場も作り易かったです。

十二月にはウインドーに、クリスマスに合わせたドールを展示しました。

私たちは小さなグループですが、これからも防府市の文化の拠点である市民ギャラリーを、発表・交流の場として活用させていただきたいと思えます。



## 新春をいける「草月流」「新光会」

アスピラート1階

市民ギャラリーウインドウにて

辰年のはじめに、正月花を生けました。

草月流のいけばなでは、①花器も作品の一部です。日常使う器も花器として生かします。②陶器やガラス器。竹、木の根っこなどで花器を工夫して作ります。③環境や集う人等、場にふさわしい花を生けます。

ここで3作品を紹介します。

① 正月花にふさわしい豪華な重箱を花器として、高さを工夫して立体的に構成しました。実り多き年になるようにと豆柿。明るい年になるように、梅の蕾も開く準備をしており、白い椿がしっかりと花開いています。

② 長寿、繁栄を表す竹に藁を巻きつけた自作花器は、お正月にふさわしいものです。のびのびとした明るい年になるように、銀柳を天高く構成しました。松や千両も長寿の花です。

③ 今回生ける場所は、縦長の明るい空間。辰年にふさわしく龍が天に昇る作品にしました。赤い枝に登っている「サンキライ」が龍。今年も安定した年になるように、土台に千両をこもりとマッス（かたまり）にしました。

本年も草月流の仲間で、「個性がたつ」「意欲が沸きたつ」「芸がたつ」を目標に大きく成長する辰年にしたいものです。



## アスピラートの

### 地形模型の部屋にお正月飾り

ラベンダーの会 代表 熊安 悦子

この度、初めての試みとして、今まで使われていなかった地形模型の部屋の周囲を飾ってみたいとお話が文化協会からあり、お正月飾りやラベンダーで作ったクラフト等を持参し、お部屋を飾ってみました。

現在の地形模型の部屋はガラス越しに足元を見ると防府市内の様子が明るく照らされているため、部屋全体は暗くなっていました。

そこで、部屋をもっと、活用して行こうと私達ラベンダーの会が周りに展示をさせていただきました。(令和5年12月20日～令和6年1月15日迄)

地形模型の部屋の周囲は全ての作品が磁石で展示できるようにっており、テーブルを置き藍染めの作品やワイヤーで吊り下げたり、工夫次第で色々楽しめました。

又、ラベンダー等ハーブ類の作品が展示でき、市民の活動の場として各会員さんたちの発表の場にもなりました。

これからも、各種グループや個人の参加の部として、この部屋がなくてはならない場所になればと思いました。

防府駅中心にあるアスピラートの活用をもっともって考えてみる必要性を感じました。市街や県外からのお客様への道しるべ(防府地域模型のお部屋)としても素敵な場所として利用させていただきたいと思えます。どうぞ宜しくお願い申し上げます。

地形模型の部屋の様子です。



## 令和6年度 市民ギャラリー情報予定

- ※「春らんまん」草月流新光会花展  
3月2日(土)～3日(日) 10時～15時  
※岡部忠則個展
- 3月8日(金)～10日(日) 9時30分～17時 最終日16時  
絵画1000点展示
- ※風信会小作品展 テーマ「辰・龍・竜」  
3月15日(金)～18日(月) 10時～17時 最終日16時
- ※松野佑子さんによるマンドラミニコンサート  
3月24日(日) 14時～15時30分
- ※お習字くらぶリブルによる「作品発表会と墨のワークショップ」  
3月30日(土)～31日(日) 10時～17時 最終日16時まで  
書作展示や墨に関するワークショップ(筆・筆以外を使ってハガキ  
サイズの作品を作ります) 無料
- ※押田政夫遺作展  
彫刻ブロンズ像26体、木彫2体展示  
4月17日(水)～21日(日) 12時～16時
- ※第3回ソウルの会が贈るパステルアート3人展  
作品2000点余り展示ワークショップ 10時～12時 材料費500円  
4月29日(月)～5月5日(日) 10時～17時 最終日15時まで
- ※アトリエ陽だまり  
5月9日(木)～12日(日)
- ※第22回遊画な仲間水彩画展～併催～青木靖男の水彩画蔵出し展  
5月24日(金)～26日(日)  
10時～16時 水彩画展示  
13日、14日 13時30分～15時30分 演奏あり
- ※山口県立防府西高等学校  
山口県高校文化連盟総合開会式においての作品展示  
6月12日(水)～15日(土)
- ※オカリナ風花ふりが♪  
6月16日(日)
- オカリナの楽しみ11  
オカリナ・マリンバ・ピアノ演奏 10時～14時  
ウクライナ支援と子ども食堂支援の展示等
- ※オカリナ夢笛 演奏  
7月5日(金)
- ※幸せまずコンサート・24  
7月12日(金)～7月14日(日) 13時～16時 水彩画展示  
13日～14日 13時30分～15時30分 音楽演奏あり

- ※着物の会 浴衣の帯結び展  
～帯結び体験会あります～ 帯結び体験会  
7月25日(木)～28日(日) 10時～15時
- ※8月24日(土)～25日(日) アスピレート t y s 募金活動  
※オカリナ風花ふりが♪  
9月8日(日)・R7年2月16日(日)
- オカリナの楽しみ12・13  
オカリナ・マリンバ・ピアノ演奏 10時と14時  
ウクライナ支援と子ども食堂支援の展示等
- ※9月12日(木)～26日(木) 第5回写真展  
※みんなの世界(みんなのこだわり展)  
ジオラマ作品の展示・詩の展示ほか、秋から防府駅へ停車する瑞風  
等の鉄道模型を走らせます。  
9月14日(土)～16日(月・祝)
- ※色鉛筆の仲間たち展  
9月19日(木)～23日(月)
- ※防府商工高校の生徒さんによる発表交流事業  
9月29日(日)
- ※山田梓江 書道作品の展示  
10月10日(木)～13日(日)
- ※十色会  
10月23日(水)～27日(日)
- ※河村正之の絵を観る会 河村正之作品展  
防府市内を中心に所蔵される河村正之画伯の作品を40点集めて展示  
11月1日(金)～6日(水) 10時～17時 最終日のみ15時まで
- ※グループ源による源展  
水彩・油絵作品展  
11月8日(金)～10日(日) 10時～17時 10日 16時まで
- ※キャンパス夢 絵画展  
牟礼公民館絵画サークル絵画展  
11月15日(金)～17日(日) 9時～16時
- ※防府市内全校による中学生たちの作品展  
12月4日(水)～8日(日)
- ※野村望東尼真筆展  
R7年3月6日(木)～10日(月) 10時～16時
- ※松野佑子マンドラミニコンサート  
R7年3月20日(木) 14時～15時30分
- ※あくまでも予定ですので、詳細にはその月の市広報及び文化協会の  
ホームページをご覧くださいとさせていただきます。



## 「文化活動が元気を育む」

防府市文化協会 事務局長 岡崎久美子

市民ギャラリーがオープンして、二年目を盛大のうちに終えようとしております。皆さまのご協力ご支援により、市民ギャラリーも園児からご年配の方々まで幅広くご周知頂けるようになりました。絵画や創作工芸等の展示や文芸や音楽演奏等の実施。ウインドウには、正月花や初釜の茶席の展示等により、文化活動の啓発が行われ、本年度も多数の文化活動を通して発表・交流事業が展開され、たくさんの方々の笑顔と感動がありました。ありがとうございます。

市民ギャラリーを当協会が運営することになって、今までとは違う文化活動に精通されている方々にお会い出来、人と人が文化活動によって、繋がって輪となっていく喜びを私自身も肌で感じながら、成長させて頂いております。来年度も、たくさんのお会いを楽しみにしております。

また、今回初めての試みとして、同じくアスピラート一階にある地形模型の部屋を活用してみることとなりました。小作品等の展示が可能で、気軽な発表の場として使えます。部屋は、少し薄暗く円筒になっておりますが、周囲がマグネットで気軽に貼れるようになっており、手作りのアレジメントした作品やA4かA3位の小作品や、数十点周囲に磁石で飾ったり、ワイヤー等で吊るすか針金でくくることが出来ます。年明け早々、正月飾りや幼稚園児から中学生までの書初めが展示され、通路を通る方々に大変喜ばれております。今後は、季節に沿った絵画の展示等が計画中です。

市民ギャラリーを盛り上げて下さっている、多くの方々には感謝申し上げます。

### 〈第4回写真展と地形模型の部屋〉

#### 地形模型の部屋



※おうちはどこにあるの？



※ママがいたよ



※市民ギャラリーを使用された方々の発表・交流のようすの写真展

### 〈市民ギャラリー〉



防府ウインドシンフォニー



お茶席展示



みんなのこだわり展

### あとがき

市民ギャラリーや地形模型の部屋を使用してみたいと思う方は、まず、防府市役所文化振興課が作成されているらっしゃる当協会のホームページをご覧頂いかお電話をお待ちしておりますので、どうぞお気軽にご連絡ください。まずは、市民ギャラリー及び地形模型の部屋をご覧頂ければ幸いです。

来年度も、市民ギャラリーで更にくさんの笑顔が生まれますよう、引き続きご協力、ご支援賜りますようよろしくお願い申し上げます。



### 編集委員

岡田 博幸 原田 信夫  
山田 史生 岡本早智子  
岡崎久美子

### 発行

〒七四七-〇八〇八  
防府市桑山二丁目一―  
防府市文化財郷土資料館 二階  
防府市文化協会  
TEL/FAX 〇八三五(二六)六八四一